



出水高校だより

IZUMI Senior High School Kagoshima.Pref.JAPAN

令和6年度 第10号 令和6年10月15日発行



Web



Instagram

Izuリオバトル

「Izu リオバトル」とは、書評合戦ビブリオバトルの出水高校版。まずはグループでおススメの本を紹介し合います。そして「どの本が読みたくなったか」を基準に投票、チャンプ本を決めます。その後、全体発表を行い、クラスのチャンプ本を1冊決定します。どのクラスも、級友とさまざまな本の魅力を共有し、読書への興味関心を高めたようです。



*** 各クラスのチャンプ本 ***

- 1-1 夕木春央 『方舟』 講談社
- 1-2 背筋 『口に関するアンケート』 ポプラ社
- 1-3 新海誠 『君の名は。』 KADOKAWA
- 2-1 三秋緋 『三日間の幸福』 KADOKAWA
- 2-2 結城真一郎 『#真相をお話しします』 新潮社
- 2-3 ダニエル・キイス『アルジャーノンに花束を』 早川書房
- 3-1 東野圭吾 『レイクサイド』 文藝春秋
- 3-2 西園寺 『鉄オタが熱弁するシン・日本の楽しみ方』 KADOKAWA
- 3-3 乙一 『失はれる物語』 角川書店

なお、10月27日からの2週間は秋の読書週間。今年の標語は「この一行に逢いにきた」です。といこうことで、最近刺さった「一行」を少し紹介させてください。

- ◎ 「大切なことを後回しにできるほど、一生は長くない。」
三浦健太 『犬が伝えたかったこと』 サンクチュアリ出版
- ◎ 「限りある人生を、前向きに自分らしく生きよう。」
飲茶 『あした死ぬ幸福の王子〜ストーリーで学ぶ「ハイデガー哲学」〜』ダイヤモンド社
- ◎ 「誰から評価されなくても、1人だけ自分を評価できる人間がいます。それは自分です。」
泉房穂 『社会の変え方』 ライツ社

ちなみに、昨年度の読書調査によると、県内の高校生の1か月の平均読書冊数は1.9冊。また、不読率（読書冊数が0冊の人の割合）は34.3%です… 学習や部活動等で読書の時間の確保が難しいかもしれませんが、深まる秋、是非、気になった本を手にとって、読書の素晴らしさに触れてみてくださいね。

頑張りました!! 秋季地区大会

1・2年生主体の新チームで秋の地区大会に臨みました。これから力を合わせていいチームを作っていきます!



弓道部



男子バドミントン部



女子バドミントン部



野球部



テニス部



男子バスケット部



女子バスケット部

*** 主な成績 (1位のみ掲載) ***

男子テニス部：団体戦優勝、個人戦ダブルス「山下和太瑠（鶴川内中出身）・池田丈児（鶴川内中出身）ペア」優勝

男子弓道部：団体戦優勝

男子バドミントン部：団体戦優勝、個人戦シングルス1年の部「北川寛人（高尾野中出身）」優勝、ダブルス1年の部「北川・内田康介（高尾野中出身）ペア」優勝

出前授業「探究課題を探そう」

1年生はこれから、想造（総合的な探究の時間）において、デジタル技術を活用しながら地域課題の解決に向けた探究活動を行っていきます。

10月3日（木）、探究する地域課題を見出すための企画第一弾として、出水市政策経営部企画政策課 迫田大夢さん（出水高校OBです!）を講師にお招きし、今後想定される問題点や解決すべきことに触れながら出水市の現状について説明していただきました。

こうした出前授業、あと数回予定しています。ぜひ、**探究せずにはいられない**、そんな課題を見出してくださいね。



お届け出高塾in出水中

出高生、教室や学校の外に飛び出して活躍しよう!ということで、出水中学校に行ってきました。10月12日、出水中学校は土曜授業。翌週からは中間考査が行われます。そこに出高生20人が登場。2年生の各教室で中間考査に向けた学習を行いました。「勉強を頑張るための秘訣」や「テストに臨む際の心構え」などの話をしたり、数学や英語の質問に答えたりしました。



みんな積極的に質問してくれて、楽しかったです!

